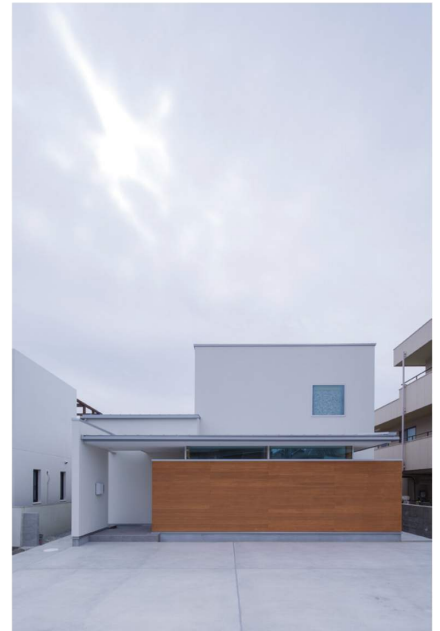


深い軒を持つコートハウス



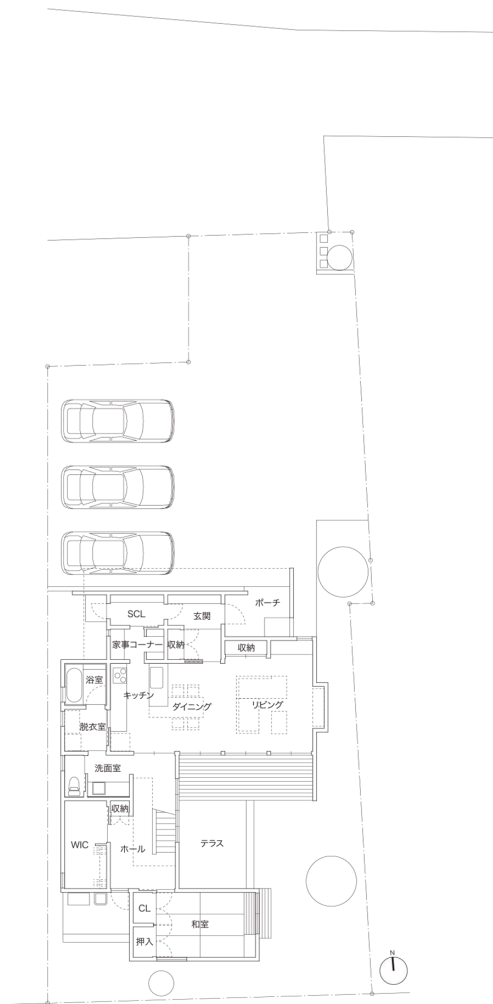
新旧建物が混在する地に建つ、深い軒を持つ住宅です。少しの雨なら横付けした車から軒下を通り玄関まで濡れずにたどり着けます。

敷地南側には里道が、西側にはマンションの共用廊下が隣接し人の行き来を感じる環境でした。この環境で明るく開放的な空間を確保するために、建物で視線をある程度遮ることのできるコの字型のコートハウスとしました。

リビングは光が奥まで届くように天井を高く設定し、床から天井までの開口としました。中庭を介した向かい側は平屋とし、上部バルコニーの手摺も光を遮らない形状としています。窓先には、冬の陽光は取り込み、夏の日射は遮ることができる軒を設けました。大きな開口のため軒も高く深いものになり、露天のような明るい軒下になりました。

ウッドデッキで仕上げられた軒下を先日子供たちが走り回っていたそうです。少し深めの軒が日々の生活に彩りを与えはじめてくれているようです。

(中澤博史)



1階平面 縮尺1/300

■深軒のコートハウス

所在地 和歌山県和歌山市

主要用途 専用住宅

設計 中澤博史/中澤建築設計事務所

施工 ASJ和歌山スタジオ[城善建設株式会社]

構造・構法・規模

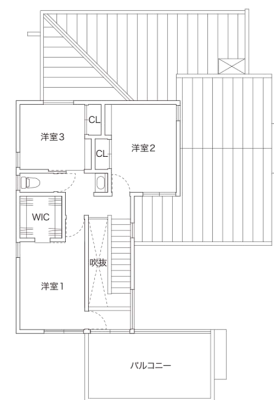
木造在来工法

地上2階

建築面積 105.31㎡

延床面積 136.45㎡

竣工 2016年10月



2階平面